

連合山形ニュース

RENGO YAMAGATA NEWS



日本労働組合総連合会
山形県連合会

〒990-0044 山形市木の実町12-37 大手門パルズ内
☎ 023-625-0555
FAX. 023-624-7661
メールアドレス: info@yamagata.jtuc-rengo.jp

No.116 2015年1月30日

ホームページアドレス: <http://www.rengo-yamagata.jp/>

連合山形「2015新春旗びらき」を開催

—覚悟と決意を固め、声を上げ、行動を起こす1年に—

1月6日、連合山形・連合山形地域協議会合同開催による「2015新春旗びらき」が大手門パルズにおいて開催され、約250名が集まり新たなスタートを誓い合いました。

主催者を代表し挨拶に立った連合山形大泉会長は、「若い人たちの政治意識や関心に焦点をあてた運動、若者が参加する運動の構築が求められる2015年である。その取り組みの第1は、賃金引上げと安定雇用の確保。第2は、セーフティーネットとしての社会保障制度の充実。また、4月の統一自治体選挙、9月の山形市長選挙、来年の参議院選挙に勝利する取組み」と提起。最後に、「覚悟と決意を固め、声を上げ、行動を起こし、春闘、統一自治体選挙に勝利しよう」と挨拶を締めました。

来賓を代表し、吉村美栄子山形県知事、市川昭男山形市長、近藤洋介民主党県連会長、吉泉秀男社会民主党県連代表の4名より祝辞をいただき、来賓者による鏡開きのあと、森田啓司山形労働局長の発声で乾杯を行いました。

祝宴の後、連合山形大泉会長と連合山形地域協議会渡辺議長によるガンバラ三唱で、連合運動のさらなる前進を誓い、団結を確認しました。



2015春闘勝利！総決起集会

日時 2015年3月7日(土) 14:30
会場 やまぎんホール(旧県民会館)

年頭挨拶



会長
大泉敏男

明けましておめでとうございます。

昨年、モンティディオ山形のJ1復帰、天皇杯準優勝、山形中央高校の甲子園での活躍や出身者のプロ入り、様々な観光イベントの成功など、山形県民が一体となった一年、山形の名を全国に発信した一年でした。吉村知事が年頭に発信力の強化ということを強調されましたが、大変すばらしい一年だったと思います。

年末には突然の解散総選挙がありました。組合員・家族、OBの皆さん、多くの県民のご支援ご協力により、二区の近藤衆議院議員の議席を確保できました。心から感謝申し上げます。

自民党が圧勝したとはいえ、選挙前よりは5議席減り、比例の絶対得票数は有権者の2割にも満たないのが実態ですし、自民党への支持は積極的支持ではなく、野党のふがいなさによる消極的支持であることも明らかになっています。国民は、安倍政権への対抗軸をはっきりした上で、与党の補完勢力ではない、選択肢となり得る野党の再編や野党共闘を求めています。安倍総理は選挙直後の記者会見で、アベノミクスの継続、消費税10%の2017年4月実施、労働者保護ルールの規制緩和、集団的自衛権の解釈改憲など自民党の政策全てが信任を得た、国民からこれらの政策をより強力に進める推進力をもらったという認識を表明しました。併せて、憲法改正に向けた歴史的チャレンジをしていくということも明言しました。今年は戦後70年という節目の年になりますが、若い人と一緒に日本国憲法と自民党憲法改正案を対比する学習の取組みが求められています。

このような状況にどう立ち向かっていくか。解散総選挙直前に若者に対して行ったある意識調査によると、日本が目指す方向としてトップになったのは「結婚や子育てといった基礎的な人間生活が保障される社会」だそうです。政治的な話題への関心度では、消費税先送りを筆頭に年金、雇用、医療、福祉など身近な話に4割前後が関心ありと答え、アベノミクスはようやく6位でした。若い人たちの政治意識や関心に焦点をあてた運動、若者が参加する運動の構築が求められる2015年だと考えます。

第一に、賃金引上げと安定雇用の確保です。安倍総理が経済界に賃上げ要請をしたことから、再び官製春闘と揶揄されています。しかし、昨年の春闘は、地方や中小企業の賃上げは大手との格差が開いており、官製春闘の限界が明らかになっています。中小においても、自らの手で闘いとる春闘にしなければなりません。企業全体の99%を占める中小企業の賃上げがなければデフレ脱却や格差社会の是正はできません。若い人が結婚、子育てができる賃上げをしなければ人口減少、少子化に歯止めをかけることはできません。連合山形としては、これまで積み重ねてきた経営者団体との対話をより深めつつ、大手企業に対して下請け代金の改善を求め、行政に対しては一層の中小企業支援を求め、全県での春闘キャラバン行動で県民の理解を得ながら、個別の労使交渉をより強めていきたいと考えています。また、安定雇用を図るためには、正規雇用を増やし、労働者保護ルールの改悪を阻止しなければなりません。長時間労働が蔓延し、過労死が多発し、メンタル疾患の増加に歯止めがかかっていません。ブラック職場やブラック企業を認めることになる労働者保護ルールの改悪を認めるわけにはいきません。職場での取り組みと全国キャンペーンの強化を図ります。

第二に、セーフティーネットとしての社会保障制度の充実です。社会保障制度の充実のために引き上げられた消費税が、大半が赤字の穴埋めに使われ、これまで赤字を穴埋めしていた税金を公共事業費などに回すという姑息な手段が使われています。まさに、ごまかしのテクニック、ここに極まれり、です。年金制度、医療保険制度、介護保険制度を支えるのは若い人たちです。若者の不信感を取り除く年金制度、子育て支援の充実が急務だと思います。

最後に、今年4月の統一自治体選挙、9月の山形市長選挙、来年の参議院選挙に勝利する取組みです。解散総選挙の結果は、市町村議員や県議会議員というすそ野を広くしないと国政選挙には勝てないことを改めて教えました。連合の政策を実現する、安倍政権の暴走にストップをかけるためには、民主党県連や社民党県連の皆さんの努力をお願いしなければなりません。同時に、連合山形構成組織自らが組織内議員を増やす努力を重ね、地道に協力議員を増やしていかなければならないと考えています。とりわけ、次期山形市長選、参議院選挙に大きな影響を与える山形市議選で与党議員の過半数獲得が至上命題となっており、最重要選挙と位置づけ取組みます。

ノーベル平和賞の17歳マララさんは銃弾に狙われながら命を懸けて闘っています。「声を上げ行動を起こす時だ。変化を起こしたいならたちあがらないといけない」と呼びかけています。われわれも覚悟と決意を固め、声を上げ、行動を起こし、春闘、統一自治体選挙に勝利しようではありませんか。

結びになりますが、実り多き年になりますようにご祈念申し上げ、挨拶といたします。

第47回衆議院選挙結果

12月2日公示、12月14日投開票の第47回衆議院選挙は、民主党が選挙前の62議席から11議席増やし、73議席を得ましたが、一方、与党は衆議院の3分の2を超える326議席となりました。投票率は、戦後最低の52.66%で、同じく過去最低だった前回2012年の59.32%をさらに6.66ポイント下回り、最低記録を更新しました。

連合山形が組織の総力をあげて支援した民主党候補者が、選挙区で議席を確保できませんでしたが、2区の近藤洋介氏が比例復活により当選することができました。

このたびの選挙は、安倍首相による突然の「大義なき解散」で、国民の選挙への関心が低下する中、準備期間もなく厳しい選挙を戦わざるをえない状況でした。このような中、連合山形推薦候補者の当選と民主党の勝利に向け、各地で最後まで諦めることなく戦い抜き、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成組織の役員・組合員の皆様に心からお礼を申し上げます。

結果は以下の通りです。

○選挙結果

1. 県1区

- ・原田 和広(民新) **46,029**
- ・遠藤 利明(自前) **98,508** 当選
- ・石川 渉(共新) **16,577**

2. 県2区

- ・近藤 洋介(民前) **90,420** 比例当選
- ・鈴木 憲和(自前) **97,915** 当選
- ・白根沢澄子(共新) **11,086**

3. 県3区

- ・吉田 大成(民新) **15,981**
- ・加藤 鮎子(自新) **79,872** 当選
- ・阿部 寿一(無前) **78,384**
- ・長谷 川剛(共新) **10,794**
- ・佐藤 誠(無新) **1,319**

連合山形シンクタンク (一社)山形県経済社会研究所 「第42回定期総会」・「年報発表会」を開催

12月16日、連合山形のシンクタンクである(一社)山形県経済社会研究所の第42回定期総会と年報発表会が「大手門パルズ」において開催されました。

総会では、2014年度の事業報告ならびに会計決算報告、2015年度事業計画ならびに収支予算について承認され、新任理事として、戸室健作山形大学人文学部准教授、角谷俊一氏、水戸吉一氏、監事には、鈴木正弘氏が新たに選出されました。

総会后、2014年度に発行された年報の発表会が開催され、同研究所所長の立松潔山形大学人文学部教授より「人口減少と山形県経済」、元参議院議員の舟山康江置賜自給圏推進機構常務理事より「地方創生と置賜自給圏構想」、同研究所顧問の高木郁朗日本女子大名誉教授より「山形県の置かれている現状と政策的課題～知事懇談を通じて～」と題した講演が行われました。



立松 潔 氏



舟山康江 氏



高木郁朗 氏

連合山形「2015春季生活闘争方針」を決定！

一月例賃金の引上げにこだわり、2%以上の賃上げを—

連合山形は、2015春季生活闘争方針について決定し、すべての組合が重点的に取り組む課題として「賃上げ」「時短」「政策・制度実現の取り組み」を「3本柱」として位置づけ、これらの取り組みを通じ「底上げ・底支え」「格差是正」の実現と、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて全力を尽くすとしました。

1. 「地域ミニマム運動」への取り組み

地域間や企業間の格差是正と県内賃金水準の底上げをはかり、低賃金県からの脱却をはかるために、最低基準（ミニマム）を設定し、県内では「これ以下では働かない。働かせない」運動を展開していく。

2. 連合山形の賃上げ要求内容

- (1) すべての連合山形加盟組合は、月例賃金にこだわる闘いを進め、賃金カーブ維持相当分を確保し、過年度物価上昇分はもとより、生産性向上分、格差是正分としての賃金改善分2%以上の要求を掲げ、「底上げ・底支え」「格差是正」に全力をあげる。

2014年連合山形中小組合賃金実態調査結果、平均賃金250,212円の2%は5,000円であるが、連合加盟組合全体平均賃金水準の2%相当額が6,000円であることから、その差額1,000円を格差是正分として上乗せした金額6,000円を賃上げ水準目標とする。

賃金カーブ維持分 + 賃上げ6,000円以上

- (2) 賃金カーブ維持分の算定が可能な組合は、その維持原資を労使で確認する。
- (3) 賃金カーブ維持分の算定が困難な組合は、賃金カーブ維持相当分を4,300円とし、4,300円+賃上げ6,000円の10,300円以上を要求する。
- (4) 年齢ポイントごとの「標準到達目標」および「最低到達目標」は以下のとおり
- (5) 非正規労働者の時間給目標額および引き上げ目標額
- ① 時間あたりの賃金目標値【山形県の連合リビングウェイジ額(法定労働時間数換算)】
850円以上(昨年同額)
 - ② 引き上げ額 37円(前年比+7円)

ミニマム設定額

年齢	2015年設定額
18歳	144,500
20歳	149,000
25歳	162,400
27歳	168,500
30歳	177,800
35歳	192,600
40歳	204,800
45歳	212,000

【連合山形の標準到達目標】

	全産業
20歳	173,400円
25歳	213,800円
27歳	230,100円
30歳	253,900円
35歳	291,700円
40歳	325,400円
45歳	353,500円

【連合山形の最低到達目標】

	全産業
20歳	160,300円
25歳	182,500円
27歳	192,500円
30歳	207,800円
35歳	232,800円
40歳	254,700円
45歳	270,200円

「月刊連合」定期購読のおすすめ

「月刊連合」は、毎月25日発行。「働く人」という視点から、今、社会で起きていることや、連合が力を注いでいる運動などをわかりやすく解説しています。時代に即した特集や多彩なテーマの連載など、内容も充実。全ページ・カラーで見やすく、労働組合役員はもちろん、働くことや社会問題に関心のある方に、ぜひ、お読みいただきたい情報誌です。年間購読料は4,320円(送料込・税込)。ぜひ、ご購読をおすすめします。お申し込みは、連合ホームページから。



2015春闘に向けた「産別代表者懇談会」

2015春闘を前に、1月21日大手門パルズにおいて、民間労組の産別代表者が集まり、(一社)山形県経済社会研究所の高木郁朗顧問と立松潔所長をコーディネーターとして、2015春闘をめぐる情勢や方針、重点取り組み課題、政策課題についての座談会が開催されました。

今春闘においては、格差是正に向けて、2%以上の賃上げを目標に、きめ細やかな指導を各組合にしていかなければいけないなどの意見が出されました。

出席者は、細谷眞 JAM南東北山形県連絡会会長、角谷俊一 UAゼンセン山形県支部長、井上正則電機連合山形地域協議会事務局長、青木孝典運輸労連山形県連合会書記長、設樂正情報労連山形県協議会議長、高木郁郎(一社)山形県経済社会研究所顧問、立松潔(一社)山形県経済社会研究所所長、梅津庸成(一社)山形県経済社会研究所専務理事、館内悟連合山形副事務局長、小川修平連合山形副事務局長、柏木実連合山形組織広報部長。



山形県高退連「2015新春旗開き」を開催

1月20日、大手門パルズにおいて、山形県高齢・退職者連合の「2015新春旗開き」が開催され、伊藤寛県高退連会長の年頭のあいさつ、連合山形森事務局長のあいさつを受け、2015年度の充実した活動を展開するスタートとなりました。

はじめに、昨年新しく結成され山形県高退連に加盟した「田川地区高齢者退職者連絡協議会」に組合旗が贈呈され、今後も組織拡大に向けて活動していくことを確認しました。

また、今春予定の統一自治体選挙において、山形県高退連の幹事でもある楨正義河北町議会議員の当選に向けて戦うことを確認しました。

乾杯の後の懇親会では、会員同士が、お互いの健康を喜びながら、今後も元気に活動しようと熱い議論がされていました。



(公財)山形県勤労者育成教育基金協会 利子補給制度対象商品

ふるさと奨学ローン

応援します
未来の
主役たち

ふるさと奨学ローン適用金利ならびに100万円あたりのご返済の目安 <保証料込>

※ご融資期間には元金返済の据置期間を含みます

(2015年1月1日現在)

ご融資期間 (元金返済)	ご融資金利 (固定金利・保証料込)	毎月返済	毎月・ボーナス併用返済	
		毎月返済額	毎月返済額	ボーナスからの返済額
5年 ご融資期間 5年以内	団体会員の方 年2.50%	17,748円	8,874円	53,502円
	団体会員以外の方 年3.00%	17,969円	8,985円	54,218円
7年 ご融資期間 5年超7年以内	団体会員の方 年2.85%	13,146円	6,573円	39,649円
	団体会員以外の方 年3.35%	13,372円	6,686円	40,363円
10年 ご融資期間 7年超10年以内	団体会員の方 年3.15%	9,726円	4,863円	29,339円
	団体会員以外の方 年3.65%	9,960円	4,980円	30,065円

毎月・ボーナス併用返済は、元金(100万円)を、毎月返済分50万円、ボーナス返済分50万円として計算しています。

※期間中、大幅な金利変動により適用金利を見直す場合があります

※店頭でご希望に合わせてご返済額の試算をいたします。

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※店頭に説明書をご用意しております。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

【お取り扱い期間】

2014年10月1日～2015年3月末日

左記の適用金利は期間中にお申込みを受け、
2015年3月末までに実行するご融資が対象となります。

入学金・授業料や送料費用など、教育に関するさまざまな使いみちに。



ご融資金額 最高1,000万円

ご融資期間 最長10年(固定金利)

※元金返済の据置期間(在学期間中のうち、
最長6年間)のご返済期間を含みます。

「団体会員の方」とは

東北労働金庫に出資している次の団体に所属されている構成員の方です。①労働組合②国家公務員・地方公務員等の団体③勤労者のための福利共済活動を目的とする団体で、勤務する事業体の事業年数が3年以上経過しているなど一定の条件を満たす団体(同一企業の団体に限りません)

利子補給制度

本ローン対象のご本人・ご親族が、卒業後山形県内に就職または就業した場合、それ以降の利子に対して**元金300万円**を限度に、**年2.0%**の利子相当分が公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会より補給されます。

2015年1月1日現在

東北労働金庫山形県本部

詳しくはお近くのろうきん窓口、またはフリーダイヤルまで。☎ **0120-1919-62**
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

2015年2月
火災共済・自然災害共済は
生まれ変わります。



0614B053

住まいる共済

新火災共済・新自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

ZENROSAIN NEWS



思いもよらずふりかかる
火災や自然災害に、
より力強い安心を。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

保障のことなら

全労済山形県本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
(山形県勤労者共済生活協同組合) TEL 023-646-4666 (代)